

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千五百八號

昭和十五年五月二十二日(水)  
海軍大臣官房

## ○通牒

軍務二機密第四三八號

昭和十五年五月二十一日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

代用疊ニ關スル件申進

家屋、橋梁、道路、飛行場用材料供給ニ關シ客年軍務二機密第二三五二號ヲ以テ申進置候處其ノ後代用疊ノ取扱ニ關シ疑義アルヤニ認メラルルニ付右ハ自今左記ノ通處理スル義ト了知相成度

記

- 一、部隊ノ移動中一時的居住用トシテ携行スヘキモノハ艦營需品定額表外備品トシ定數ヲ設定ス
- 二、部隊ノ長期居住用ノモノハ建築所掌トス

○五月二十一日日本欄軍務四第一三〇號別紙 (別紙)

一 整第五〇〇號

昭和十五年五月十一日

電氣廳長官

海軍次官殿

國ノ事業等ニ於ケル電力消費ニ關スル件

國ニ於テ營ム事業及諸官衙ニ於テ新ニ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ増加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル場合ニ於テハ電力調整令ノ適用無之義ニ候得共電力調整ノ趣旨ニ鑑ミ國ニ於テ電力ヲ消費セントスル場合ニ於テモ電力調整令施行規則ニ準ジ左記ニ依リ打合相成度

記

一、打合ノ相手方

(イ) 新規受電電力又ハ増加受電電力一千キロワット

以上ノモノニ在リテハ遞信大臣

(ロ) 同五百キロワット以上一千キロワット未満ノモノニ在リテハ關係遞信局長

二、打合事項

(一) 電力ヲ必要トスル事由

海軍公報 (部内限) 第三千五百八號

昭和十五年五月二十二日

五五九

0864

- (二) 豫定電氣供給事業者
- (三) 新規又増加受電電力(受電電力ハ常時又ハ特殊等ノ別ニ依リ記載シ、受電電力ヲ増加セントスルモノニ在リテハ現在ノ受電電力ヲ附記ノコト)
- (四) 受電時間
- (五) 受電開始豫定期日
- (六) 電力消費装置ノ施設場所及概要

航本機密第四六五六號

昭和十五年五月二十一日

海軍航空本部長

各廳長殿

飛行機用諸管系統識別ニ關スル件通知

最近飛行機用諸管系統ノ種類増加シ現行規定ノミニテハ識別充分ナラザルヲ以テ飛行機造修規則第三百二十二條ノ規定ニ拘ラズ別表ニ依リ施行セシメラレ度

(別表一葉添)

### ○ 辭令

海軍技術會議議員海軍少將 和田 操  
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍技術會議  
員海軍機關大佐

多田 力三

同 松 笠 潔

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス(以上五三〇海軍省)

海軍艦政本部造船造兵監督  
會計官兼海軍航空本部造兵  
監督會計官海軍主計大佐

岡本 正治

兼室蘭監理官ヲ命ス(五三〇同)

海軍少佐 鈴木 榮次郎

總務部第一課勤務ヲ命ス(五三〇海軍航空本部)

### ○ 雜款

○司令潜水艦復歸

第十二潜水艦司令ハ五月二十日司令潜水艦ヲ伊號第七十潜水艦ヨリ伊號第六十八潜水艦ニ復歸セリ

○郵便物發送先

第一航空戰隊司令部、軍艦赤城宛

五月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀

六月二十二日迄ニ 同 志 布 志

第十九驅逐隊宛

五月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ 第一航空戰隊司令部ニ同ジ

(別表)

番 號	類 別	色 別	色 別 要 領	塗 色 標 準	塗 料 格 規
1	燃 料 管	赤	全長ニ亘ツテ塗ルコト	假規 117-B <sub>2</sub>	ち24
2	潤 滑 油 管	黄	一、管ノ兩端ノミ長サ 約 100 耗塗ルコト  (但シ二色ノモノハ 50 耗宛トシ管端ヲ白 色トス)  二、長キ管ニアリテハ 途中所要ノ箇所ニ長 サ 100 耗塗ルコト	" C <sub>1</sub>	
3	冷 却 水 (液) 管	青		" E <sub>1</sub>	
4	消 火 装 置 用 管	赤 白		" B <sub>2</sub> O <sub>1</sub>	
5	浮 泛 装 置 用 管	青 白		" E <sub>3</sub> O <sub>1</sub>	
6	空 氣 管	青		" E <sub>3</sub>	
7	壓 搾 空 氣 (瓦 斯) 管	白		" O <sub>1</sub>	
8	油 壓 用 管	綠		" D <sub>1</sub>	
9	氷 結 防 止 液 管	灰 青		" K <sub>1</sub>	
10	傳 聲 管	土		" I <sub>3</sub>	
11	汚 水 (小 便) 管	黒		假規 117-Q <sub>1</sub>	
12	無 線 遮 蔽 管	生 地		電氣防蝕ヲ行ハズ生地ノ儘トス	

(昭和十五年五月二十二日公報(部内限))

- 記事 1. 管ニハ矢印ヲ以テ流レノ方向ヲ明示スルコト  
 2. 油壓管等用途多キモノニアリテハ其ノ區別ヲ管ニ直接記註スルカ  
 又ハ名札ヲ附スル等適宜明示スルコト

0866

○艦船所在

▲印ハ「ホ」  
指定ヲ要セス

○五月二十二日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、迅鯨、陸奥、▽赤城、愛宕▲、▽蒼龍

雷▲、▽朝雲▲、山雲▲

伊七▲、伊五▲

尻矢、室戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊二三)▲

【長浦】

殿島

汐風、帆風、夏雲、峯雲

伊六、▽呂五七、呂五八、▽伊二三四、

伊一二三

掃五、掃六

(伊一七)、(宗谷)

【鶴見】

(國後)▲

【横濱】

(鹿島)▲

【浦賀】

狹霧▲

(早潮)▲、(時津風)▲

【清水】

▽掃三、掃一、掃二、掃四

【大湊】

呂五九

【函館】

▽朝風

【小樽】

沖島

【吳】

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、

八雲、龍驤、妙高▲、千代田▲

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、矢風▲

▽綾波、浦波

▽伊一二三▲、伊一二二▲、伊六三▲、▽伊六〇、

伊五九、伊二六、伊五七▲、伊五八、

伊七一▲、伊八

雁 掃一三、掃一四▲

攝津、隠戸、間宮

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

▽球磨、初鷹

▽呂六四、呂六三、呂六八

▽掃一六、掃一五

(岡田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲、大井

伊一▲、▽伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、

(伊二一)▲、(伊二二)▲

鶴見▲

(蒼鷹)▲

伊四▲

(占守)▲

長月▲、文月▲

吾妻▲、龍田▲、長良▲、天龍

▽秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、

刈萱▲

0867



(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千五百九號

昭和十五年五月二十三日(木)

## 海軍大臣官房

### ○通牒

官房第二五七三號ノ二

昭和十五年五月二十三日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ  
關スル件通牒

來六月二日東京市蒲田區羽田東京飛行場ニ於テ命名式  
舉行豫定ノ報國號飛行機ノ要目發表範圍及寫真撮影等  
ニ關シテハ左記ニ依ルコトト了知相成度

記

一、報國號飛行機要目發表範圍

報國第三八五號(相撲號)

機種 艦上戦闘機

座席 一

全幅 一一・〇米

全長 七・五米

全 高 三・〇米

二、寫真撮影(特ニ許可ヲ得タルモノノ外)禁止

### ○辭令

第一課兼第二課勤務ヲ命ス(海軍省教育局)  
海軍主計中佐 出本 鹿之助

### ○雜 裁

○司令驅逐艦變更  
第二十二驅逐隊司令ハ五月十八日司令驅逐艦ヲ長月ヨ  
リ水無月ニ變更セリ

○特設運送船甲谷陀丸行動豫定變更(四月二十三日  
本欄參照)

地名	着	發
大阪	五月二十二日	五月二十二日
吳	五月二十三日	五月二十五日
長崎	五月二十六日	五月二十八日
佐世保	五月二十八日	五月二十九日

海軍公報(部内限) 第三千五百九號

昭和十五年五月二十三日

五六三

0869

海軍公報(部内限) 第三千五百九號 昭和十五年五月二十三日

鎮南浦 三十一日

○事務所設置  
翔鶴艦裝具事務所ヲ横須賀海軍工廠内ニ設置シ五月二十三日ヨリ事務ヲ開始セリ

五六四

0870

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十三日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、陸奥、  
赤城▲、蒼龍、香取

雷▲、朝雲▲、山雲▲

伊七▲、伊五▲

尻矢、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊二三)▲

【長浦】

嚴島

汐風、帆風、夏雲、峯雲

伊六、呂五七、呂五八、伊一二四、  
伊一二三

掃五、掃六

(伊一七)、(宗谷)

【鶴見】

(國後)▲

横濱▲、鹿島▲

浦賀▲、狹霧▲

(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

迅鯨

澤風▲

清水▲、掃三、掃一、掃二、掃四

大湊▲、呂五九

函館▲、朝風

【吳】 淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、

八雲、龍驤、妙高▲、千代田▲

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、矢風▲

綾波、浦波

伊一二二▲、伊一二一▲、伊六三▲、伊六〇、  
伊五九、伊一六、伊五七▲、伊五八、  
伊七一▲、伊八

雁

掃一三、掃一四▲

攝津、隱戸、間宮

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

球磨、初鷹

呂六四、呂六三、呂六八

掃一六、掃一五

(岡田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲、大井

伊一▲、伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、  
(伊二一)▲、(伊二二)▲

鶴見▲

(蒼鷹)▲

伊四▲

(古守)▲

【因ノ島】 長月▲、文月▲

【舞鶴】 吾妻▲、龍田▲、長良▲、天龍

秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、

海軍公報(部内限) 第三千五百九號

昭和十五年五月二十三日

五六五

0871



刈萱▲

▽伊集▲、鴨▲、鴻▲、鵠▲、千鳥

伊五二▲

(親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲

【佐世保】

▽青葉▲、衣笠▲、加賀、名取、霧島、北上、

▽八重山、常磐

初春、▽三日月、菊月、夕月、卯月、夕風、

皐月、睦月▲、▽水無月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六二、▽伊六二▲、伊六一▲、伊六四▲、

▽呂六五、呂六七、呂六六

掃一一、掃一二、▽掃一〇、掃九

敷島▲、佐多、知床

(八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【長崎】

▽追風、疾風

【鎮海】

襟裳

【羅府】

【作業地】

出雲、▽安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、二見、▽伏見、▽鳥海、嵯峨、

▽磐手、勝力、駒橋、▽千歳、▽由良、▽多摩、

能登呂、▽長門、山城、伊勢、▽金剛、

榛名、▽加古、古鷹、▽阿武隈、▽川内、

▽劍崎、▽高雄、愛宕、摩耶、▽羽黒、那智、

▽熊野、鈴谷、三隈、最上、▽利根、筑摩、

▽神通、▽那珂、▽五十鈴、飛龍

栗、梅、蓮、松風、▽朝風、▽若葉、初霜、

子日、▽春風、旗風、沖風、峯風、▽神風、

波風、野風、沼風、彌生、▽如月、望月、

▽村雨、春雨、夕立、五月雨、▽江風、涼風、

海風、山風、▽白露、夕暮、有明、時雨、

▽東雲、白雲、叢雲、薄雲、▽天霧、朝霧、夕霧、

▽大潮、朝潮、荒潮、滿潮、▽黑潮、雪風、

初風、▽霞、▽霰、陽炎、不知火、▽響

電、曉、▽潮、曙、臘、漣、▽初雪、

白雪、吹雪

▽呂三四、呂三三、▽伊五六、▽伊五三、

伊五四、伊五五、▽伊六七、伊六六、

伊六五、▽伊六八、伊六九、伊七〇、

▽伊七二、伊七三、▽伊七五、伊七四

鷹、鳩、雄、▽友鶴、初雁、真鶴

掃七、掃一七、▽掃一八、掃八

▽朝日、大泊、野島、明石

【航海中】

早靱 (二十日)「タラカン」發「マニラ」へ

石廊 (二十日)「ホルル」發「パラオ」へ

長鯨 (二十一日)吳發「廣島灣」へ

日向 (二十二日)長濱發「吳」へ

沖島 (二十二日)小樽發「函館」へ

室戸 (二十二日)横須賀發「吳」へ

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百十號

昭和十五年五月二十四日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一五四三號ノ四

昭和十五年度歳入歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十五年五月二十三日

海軍大臣

特別會計

款	工廠資金	項	目	節	疏	會計科目 電信略號
	歳入					
歳入	材料物 (品收入)	返納金	△ 教員加俸	キケ	記	記
	(雑收入)					
歳出	作業會計					
作業會計	海軍燃料費 (作業費)	俸給 (特別)				
俸給						

○ 通 牒

航本機密兵飛第四六七號

昭和十五年五月二十三日

海軍航空本部總務部長

關係各廳長殿

飛行長主管消耗兵器還納ニ關スル件照會

昭和十二年航本機密兵飛第七三九號照會首題ノ件中左

記ノ通改正ス

追テ昭和四年軍需機密兵第四八一號ハ自然消滅ノコ  
ト了知相成度

記

海軍公報 (部内限) 第三千五百十號

昭和十五年五月二十四日

五六七

0873

射出機裝藥包	藥 莢	還納受ノ上吳軍需部へ送付
同	莢 蓋	
同	換 栓	
莢二號擊發火管	打 殼	還納受ノ上吳軍需部へ送付
同	換 栓	
同	莢 蓋	

射出機裝藥包	藥 莢	造兵材料トシテ保管轉換
同	莢 蓋	
同	換 栓	
莢二號擊發火管	打 殼	還納受ノ上吳軍需部へ送付
同	換 栓	
同	莢 蓋	

改ム  
備考第一號中「別ニ通牒ニ依リ保管轉換可致候條便船ノ都度發送ノ上品名、數量通報相成度」ヲ「保管轉換ノ上發送ノコト」ニ改ム  
(海軍航空秘法規類集三〇三頁並ニ三二五頁參照)

○ 辭 令

海軍機關大佐 古野 博

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス(五十四海軍省)  
海軍技師 岡藤 一雄  
技術部第一課勤務兼總務部第一課勤務ヲ命ス  
同 名田 清  
兼テ技術部第一課勤務ヲ命ス(以上五十四海軍航空本部)

○ 雜 款

吳 地 名	着	發
吳 部	五月二十三日	五月二十一日
小 灣	二十七日	(廣島灣)
高 松	二十八日	
神 戶	二十九日	
大 阪	三十日	
吳 部	六月二日	六月一日
吳 部	九日	(伊豫灘)
吳 部	十一日	(内海西部豊後水道)
		(伊豫灘)

0874

吳 部

小 部

高 松

神 戶

大 阪

十五日

二十一日

二十三日

二十四日

二十六日

二十六日

二十九日

十六日

(内海西部)

二十三日

二十四日

二十五日

二十六日

二十八日

三十日

(秋方面)

○郵便物發送先  
驅逐艦菊月宛

五月三十日迄ニ到達見込ノモノハ  
其ノ後ハ

因 吳

島

海軍公報(部内限)第三千五百十號

昭和十五年五月二十四日

五六九

0875

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十四日午前十時調

【横須賀】

春日▲、足柄▲、瑞穂、夕張、神威、比叡、  
赤城▲、蒼龍、香取

△朝雲▲、山雲▲

伊七▲、伊五▲

尻矢、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊二三)▲

【長浦】

嚴島、汐風、帆風、夏雲、峯雲

伊六、伊一二四、伊一二三

掃五、掃六

(伊一七)、(宗谷)

【鶴見】

(國後)▲

【横濱】

(鹿島)▲

【浦賀】

狹霧▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

呂五九

【函館】

沖島

【吳】

△朝風

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、  
八雲、龍驤、妙高▲、千代田▲、長鯨、  
吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、矢風▲

△綾波、浦波

伊一二二▲、伊一二三▲、伊六三▲、伊六六○、

伊五九、伊二六、伊五七▲、伊五八、

伊七一▲、伊八

雁 掃一三、掃一四▲

攝津、隱戸、開宮

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

△球磨、初鷹

掃一六、掃一五

(岡田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(津風)▲

木曾▲、大井

伊一▲、伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲

(伊二一)▲、(伊二二)▲

鶴見▲

(蒼鷹)▲

伊四▲

(占守)▲

長月▲、文月▲

吾妻▲、龍田▲、長良▲、天龍

△秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、

刈萱▲

伊集▲、鴨▲、鴻▲、鶴▲、千鳥

伊五二▲

0876

【佐世保】

(親潮)▲(天津風)▲(嵐)▲  
青葉▲、衣笠▲、加賀、名取、霧島、北上、  
八重山、常磐

初春、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、  
皐月、睦月、水無月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、  
呂六二、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、  
呂六五、呂六七、呂六六

掃一、掃二、掃一〇、掃九  
敷島▲、佐多、知床

(八丈)▲(磯風)▲(伊一八)▲(伊二四)▲

【長崎】

(櫻野)▲  
追風、疾風

【鎮海】

早瀬

【マニラ】

襟裳

【羅府】

出雲、平安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、  
比良、保津、二見、伏見、鳥海、嵯峨、  
磐手、勝力、駒橋、千歳、由良、多摩、  
能登呂、長門、陸奥、山城、伊勢、金剛、  
榛名、加古、古鷹、阿武隈、川内、  
劍崎、高雄、愛宕、摩耶、羽黒、那智、  
熊野、鈴谷、三隈、最上、利根、筑摩、  
神通、那珂、五十鈴、飛龍

栗、梅、蓮、松風、朝風、若葉、初霜、  
子日、春風、旗風、沖風、峯風、神風、

波風、野風、沼風、彌生、如月、望月、  
村雨、春雨、夕立、五月雨、江風、涼風、  
海風、山風、白露、夕暮、有明、時雨、  
東雲、白雲、叢雲、薄雲、天霧、朝霧、夕霧、  
大潮、朝潮、荒潮、滿潮、黑潮、雪風、  
初風、霞、霰、陽炎、不知火、響、  
雷、電、曉、潮、曙、朧、漣、初雪、  
白雪、吹雪

呂三四、呂三三、伊五六、伊五三、  
伊五四、伊五五、伊六七、伊六六、  
伊六五、伊六八、伊六九、伊七〇、  
伊七二、伊七三、伊七五、伊七四、  
鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴

掃七、掃一七、掃一八、掃八  
朝日、大泊、野島、明石

石廊 (二十日)「ホノルル」發「バラオ」へ  
日向 (二十二日)長濱發「吳」へ  
室戸 (二十二日)横須賀發「吳」へ  
迅鯨 (二十三日)館山發「清水」へ

呂五七、呂五八 (二十三日)長浦發「清水」へ  
呂六四、呂六三、呂六八 (二十三日)大阪發「吳」へ  
掃三、掃一、掃二、掃四 (二十三日)清水發「長浦」へ

【航海中】

0877

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千五百十一號

昭和十五年五月二十五日(主)  
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第三〇五號

昭和十四年度新造雜役船ノ船種、船名、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十五年五月二十四日

海 軍 大 臣

船種	船名	所 屬	定數別	製 造 所	契約納入場所	納入豫定期日
救難船兼曳船 (八百噸)	長 浦 (ナガウラ)	横須賀海軍港務部	臨時附屬	播磨造船所	横須賀工廠	昭和十五年 七月三十一日
電纜敷設船 (千五百噸)	初 島 (ハツシマ)	横須賀防備隊	同	川崎重工業會社	神 戶 港	同 九月十五日
同	釣 島 (ツルシマ)	佐伯防備隊	同	同	同	同 三月三十一日

官房第二七六六號

昭和十二年官房第五三五一號中左ノ通改正ス

昭和十五年五月二十五日

海 軍 大 臣

(イ) 生獸肉ノ部中

第二號ヲ左ノ如ク改ム

二、罐詰獸肉ニ換給ヲ停止ス

(ロ) 生魚肉ノ部中

第一號ヲ左ノ如ク改ム

一、罐詰魚肉ニ換給ヲ停止ス

海軍公報(部内限)第三千五百十一號

昭和十五年五月二十五日

五七三

0878

○ 辭令

海軍主計中佐 奥 三二

表彰審査委員會委員ヲ免ス

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ免ス

同 出本鹿之助

表彰審査委員會委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス (以上 海軍省)

○ 雜款

○特設運送船甲谷陀丸行動豫定

地名	着	發
横須賀	五月二十二日	五月二十日
大阪	五月二十三日	五月二十二日
吳	五月二十六日	五月二十五日
長崎	五月二十八日	五月二十八日
佐世保	五月三十一日	五月二十九日
鎮南浦	六月四日	六月三日
旅順	六月九日	六月八日
鎮南浦	六月十七日	六月十五日
佐世保		六月十九日

吳	二十日	二十三日
横須賀	二十五日	二十九日
吳	七月一日	

○郵便物發送先  
軍艦長鯨宛

吳	五月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ	同
大	同 三十一日迄ニ	同
吳	同 六月二十二日迄ニ	同
大	同 六月二十七日迄ニ	同
吳	同 六月二十九日迄ニ	同

軍艦白鷺宛  
自今

特設運送船甲谷陀丸宛

長	五月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ	同
佐	同 二十八日迄ニ	同
鎮南浦	同 六月二日迄ニ	同
旅順	同 六月七日迄ニ	同
鎮南浦	同 六月十四日迄ニ	同
佐世保	同 六月十八日迄ニ	同
吳	同 六月二十二日迄ニ	同
横須賀	同 六月二十八日迄ニ	同
吳	其ノ後ハ	

0879



○服役  
左記ノ者ハ本月二十五日海軍武官服役令第八條ノ規定ニ依ル現役ニ服セシメラル

記

海軍軍醫中尉	大島 正光
同	井手 武夫
同	肥田 慶二郎
同	河野 義夫
同	中村 良輔
同	小川 正之
同	松浦 斌
同	山口 正三
同	早川 匡次
同	櫻井 惺
海軍軍醫少尉	大石 勤也
同	木下 達雄
海軍藥劑少尉	横山 善夫

○正誤  
五月十三日公報(部内限) 令達官房第三四七七號中公  
稱第一一〇二號及同第一一〇三號ノ項ヲ削リ(第一一〇  
〇〇號)ハ「第一一〇〇號」ノ誤(濟)

海軍公報(部内限) 第三千五百十一號

昭和十五年五月二十五日

五七五

0880

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十五日午前十時調

【横須賀】春日▲、足柄▲、瑞穂▲、夕張、神威、比叡、

赤城▲、蒼龍、香取、嚴島

【朝雲】山雲▲

伊七▲、伊五▲

尻矢、鳴戸

【高崎】(翔鶴)、(伊二三)▲

【長浦】汐風、帆風、夏雲、峯雲

伊六、伊一二四、伊一二三

掃五、掃六、伊掃三、掃一、掃二、掃四

(伊一七)、(宗谷)

【鶴見】(國後)▲

【横濱】(鹿島)▲

【浦賀】狹霧▲

(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】澤風▲

【清水】迅鯨▲

伊呂五七、呂五八

【大湊】呂五九

【函館】沖島

伊朝風

【吳】淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、白鷹、

八雲、龍驤、妙高▲、千代田▲、長鯨

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、矢風▲

伊綾波、浦波、菊月

伊一二三▲、伊一二二▲、伊六三▲、伊六〇、

伊一六、伊五七▲、伊五八、伊八、

伊呂六四、呂六三、呂六八

掃一三、掃一四▲

攝津、隠戸、開宮、室戸

【日進】(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

【大阪】球磨、初鷹

伊掃一六、掃一五

【神戶】(岡田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲、大井

伊一▲、伊二▲、伊三▲

【瑞鶴】(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲

(伊二一)▲、(伊二二)▲

【相生】鶴見▲

(蒼鷹)▲

【玉】伊四▲

(古守)▲

【因ノ島】長月▲、文月▲

【舞鶴】吾妻▲、龍田▲、長良▲、天龍

伊秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、

刈萱▲

伊隼▲、鴨▲、鴻▲、鶴▲、千鳥

【佐世保】

伊五二▲ (親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲  
青葉▲、衣笠▲、加賀、名取▲、霧島、北上、  
八重山、常磐  
初春、三日月、夕月、卯月、夕風、  
皐月、睦月▲、三水無月  
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、  
呂六二、伊伊六二▲、伊六一▲、伊六四▲、  
呂六五、呂六七、呂六六  
掃一一、掃一二、掃一〇、掃九  
敷島▲、佐多▲、知床  
(八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲  
(檜野)▲

【長崎】

早鞆  
襟裳

【羅府】

出雲、口安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、  
比良、保津、二見、口伏見、口鳥海、嵯峨、  
口磐手、勝力、駒橋、口千歲、口由良、口多摩、  
能登呂、口長門、陸奥、山城、伊勢、口金剛、  
榛名、口加古、古鷹、口阿武隈、口川内、  
口劍埼、口高雄、愛宕、摩耶、口羽黒、那智、  
口熊野、鈴谷、三隈、最上、口利根、筑摩、  
口神通、口那珂、口五十鈴、口飛龍  
栗、梅、蓮、松風、口朝風、口若葉、初霜、  
子日、口春風、旗風、沖風、峯風、口神風、

【航海中】

石廊 (二十日「ホノルル」發「バラオ」へ)  
日向 (二十二日長濱發「吳」へ)  
口追風 (二十四日鎮海發「仁川」へ)  
疾風 (二十四日鎮海發「鎮南浦」へ)

波風、野風、沼風、彌生、口如月、望月、  
口村雨、春雨、夕立、五月雨、口江風、涼風、  
海風、山風、口白露、夕暮、有明、時雨、  
口東雲、白雲、叢雲、薄雲、口天霧、朝霧、夕霧、  
大潮、口朝潮、荒潮、滿潮、口黑潮、雪風、  
初風、口霞、霞、陽炎、不知火、口響、  
雷、電、曉、口潮、曙、朧、漣、口初雪、  
白雪、吹雪  
口呂三四、呂三三、口伊五六、口伊五三、  
伊五四、伊五五、口伊六七、伊六六、  
伊六五、口伊六八、伊六九、伊七〇、  
口伊七二、伊七一、伊五九、伊七三、  
口伊七五、伊七四  
鷺、鳩、雉、口友鶴、初雁、真鶴  
掃七、掃一七、口掃一八、掃八  
口朝日、大泊、野島、明石

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十五年五月二十五日(土)  
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第二七六一號

昭和十五年五月二十五日

海 軍 大 臣

關係各所屬長官殿

滿洲國皇帝陛下御訪日ニ關スル儀禮ノ件訓令

滿洲國皇帝陛下御訪日ノ際ニ於ケル海軍儀禮ニ關シテハ別紙ニ依ル義ト心得ベシ  
尙細項ニ關シテハ必要ノ都度軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ通牒セシム

(別紙)

滿洲國皇帝陛下御訪日ニ關スル儀禮

一、一般儀禮

- (一) 儀禮施行當日大連横濱及大阪所在艦船ハ海軍旗章令第四十七條ニ依リ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フ  
迎送式及伺候式ハ之ヲ省略ス
- (二) 海軍禮式令第六十三條乃至第六十五條及同第七十九條ノ敬禮中軍樂隊ハ滿洲國國歌ヲ奏シ喇叭吹奏ハ

海軍公報(部内限)號外

0883

之ヲ行ハズ

(三) 御召艦警衛驅逐艦(御召艇)ハ皇帝陛下御乘艦(御乘艇)中其ノ大檣頂(艇首旗竿)ニ滿洲國軍艦旗ヲ掲揚ス

(四) 御召艦ニ遭遇スル艦船ハ海軍禮式令第六十五條又ハ同第七十九條ノ敬禮ヲ行フ此ノ場合ノ服裝ハ當日ノ服裝トス

(五) 皇帝陛下ノ御乘艦ハ答禮及答砲ヲ行ハズ

(六) 滿洲國ノ勳章、記章ヲ有スルモノハ我が勳章、記章ト併佩ス

二、大連ニ於ケル儀禮

六月二十二日(御乘艦當日)及七月十日(御退艦當日)

(一) 所在軍艦ハ大連驛御著(發)ノ時、御召艦御乘(退)艦ノ時及御召艦出(入)港ノ時皇禮砲ヲ行フ

(二) 御召艦ハ御乘(退)艦ノ時海軍禮式令第六十三條(第六十四條)ノ敬禮ヲ行フ

(三) 警衛驅逐艦ハ同艦ニ御乘(退)艦ノ時海軍禮式令第六十三條(第六十四條)ニ準ジ敬禮ヲ行フ

(四) 御召艦警衛驅逐艦以外ノ所在艦船ハ御乘艦(艇)近傍ヲ通過スル時及御召艦出(入)港ノ時海軍禮式令第六十五條又ハ同第七十九條ノ敬禮ヲ行フ

(五) 旅順要港部司令官、幕僚及所轄長ハ第二埠頭ニ於テ奉迎送シ、警衛驅逐隊司令、警衛驅逐艦長ハ警衛

0884

驅逐艦ニ於テ旅順要港部司令官、御召艦艦長ハ御召艦ニ於テ賜謁ス

(六) 海上御列

先導艇

御召艇

扈從艇

(附) 御列中ノ御召艇ハ御召艦搭載ノモノヲ使用シ先導艇扈從艇ハ前日中ニ旅順要港部ヨリ派遣ス

別ニ關東局海務局ヨリ列外艇二隻ヲ派出ス

(七) 服装ヲ軍裝短劍勳章記章全部トス

三、横濱ニ於ケル儀禮

六月二十六日(御退艦當日)

(一) 所在軍艦ハ御召艦入港ノ時御退艦ノ時及横濱港驛御發車ノ時皇禮砲ヲ行フ

(二) 御召艦ハ御退艦ノ時海軍禮式令第六十四條、警衛驅逐艦及儀禮驅逐艦ハ同第七十九條ノ敬禮ヲ行フ其

ノ他ノ所在艦船ハ御召艦入港ノ時及御退艦ノ時海軍禮式令第六十五條又ハ同第七十九條ノ敬禮ヲ行フ

(三) 秩父宮殿下(横濱港驛御發棧橋ニ向ハセラルル時ヨリ公式) 棧橋御發御召艦ニ御乘艦ノ時御召艦ハ皇

禮砲及海軍禮式令第六十三條ニ定ムル制規ノ敬禮ヲ行ヒ其ノ他ノ所在艦船ハ同第六十五條又ハ同第七十

九條ニ定ムル制規ノ敬禮ヲ行フ

0885

御召艦ニハ皇族旗ヲ併揚セズ

秩父宮殿下 皇帝陛下ト御同列ニテ御退艦ノ時ハ殿下ニ對スル艦船ノ儀禮ハ之ヲ行ハズ

御同乗ノ御召艇ニハ艇首旗竿ニ滿洲國軍艦旗ノミヲ掲揚ス

(四) 海上御列

(イ) 皇帝陛下御退艦ノ際

嚮導艇 (横濱税關 港務部長)

先導艇 (横須賀海軍 港務部長)

御召艇

第一扈從艇

第二扈從艇

(ロ) 秩父宮殿下御乘艦ノ際

嚮導艇 (横濱税關 港務部長)

先導艇 (横須賀海軍 港務部長)

御召艇

扈從艇

(附) 皇帝陛下御召艇ハ御召艦搭載ノモノヲ使用シ其ノ他ノモノハ豫備艇一隻ト共ニ當日午前九時迄

ニ横須賀鎮守府ヨリ派遣ス

秩父宮殿下御列用ノ短艇ハ皇帝陛下御列用ニ流用スルコトヲ得

(五) 皇帝陛下御上陸ノ際横須賀鎮守府司令長官及所在防備戰隊司令官ハ特設棧橋ニ、幕僚及所轄長ハ四號

岸壁ニ奉迎シ御召車附近ニ在リテ奉送ス但シ横須賀鎮守府司令長官ハ別ニ御召艦ニ於テ賜謁ス

(六) 儀仗隊

當日午前九時迄ニ横須賀鎮守府ヨリ海軍大佐ノ指揮スル銃隊一個大隊(軍樂隊一隊ヲ附ス)ヲ岸壁ニ派遣ス

儀仗隊ハ皇帝陛下ニ敬禮ノ際滿洲國國歌ヲ奏ス

秩父宮殿下ニ對シテハ敬禮ヲ行ハズ

(七) 服裝ヲ軍裝長劍勳章記章全部トス

四、大阪ニ於ケル儀禮

七月六日(御乘艦當日)

(一) 所在軍艦ハ大阪驛御著ノ時御召艦御乘艦ノ時及御召艦出港ノ時皇禮砲ヲ行フ

(二) 御召艦ハ御乘艦ノ時海軍禮式令第六十三條ノ敬禮ヲ行フ

(三) 警衛驅逐艦ハ同艦ニ御乘(退)艦ノ時海軍禮式令第六十三條(第六十四條)ニ準ジ敬禮ヲ行フ

(四) 御召艦警衛驅逐艦以外ノ所在艦船ハ御乘艦(艇)近傍通過ノ時及御召艦出港ノ時海軍禮式令第六十五

條又ハ同第七十九條ノ敬禮ヲ行フ

(五) 所在司令長官、防備戰隊司令官、阪神海軍部長、幕僚及所轄長ハ第一號繫船岸ニ於テ奉迎送シ、司令

長官、防備戰隊司令官及阪神海軍部長ハ警衛驅逐艦ニ於テ賜謁ス



月	日	曜	時	刻	記	事
六月二十二日	土		一〇七〇〇	〇	新京御發	
			一七二〇〇	〇	大連驛御著	
			一八〇〇〇	〇	第二埠頭ニ於テ警衛驅逐艦ニ御乘艦同埠頭御發港外ニ於テ御召艦ニ御乘艦	
			一九〇〇〇	〇	御召艦、警衛驅逐艦大連出港	

(附 録)

滿洲國皇帝陛下御訪日豫定表

(御召艦 警衛驅逐艦)

(日 雲)

(六) 海上 御列

先導艇

御召艇

扈從艇

(附)

(七)

御召艇ハ御召艦搭載ノモノヲ使用シ先導艇扈從艇ハ吳鎮守府(儀禮艦)ヨリ派遣ス  
 別ニ大阪稅關港務部ヨリ列外艇二隻ヲ派出ス  
 服裝ヲ軍裝短劍勳章記章全部トス

0888

自六月二十三日至同二十五日	水	〇九〇〇 〇九三〇 〇九四五	御航海 (九州南端通過)
六月二十六日	水	〇九〇〇 〇九三〇 〇九四五	御召艦警衛驅逐艦横濱港入港 御召艦十番浮標ニ繫留ヲ了ス 秩父宮殿下棧橋御發御召艦ニ迎ハセラル 御召艦御退艦 (秩父宮殿下御同列) 横濱港驛御發 東京驛御著赤坂離宮へ
自六月二十七日 至七月一日			東京御滞在
七月二日	火	〇九二〇 一七五〇	東京驛御發 京都驛御著大宮御所へ
自七月三日 至七月五日			京都御滞在
七月六日	土	〇八四三 〇九〇〇 〇九四〇 一〇〇六	大宮御所御發 京都驛御發 大阪驛御著 大阪第一號繫船岸ニ於テ警衛驅逐艦ニ御乗艦、同岸壁御發港外

0889

大連、雄、鳩	儀禮艦ノ配備豫定及各艦ノ豫定錨地(位)	七月十日	七月八日 七月九日	七月七日	
	儀禮艦名	水		日	
御召艦 警衛驅逐艦 北防波堤端ノ一〇五度四〇〇〇米 第二埠頭	御召艦、警衛驅逐艦及儀禮艦ノ錨地(位)	〇六三〇迄ニ 〇八二〇 〇九〇〇 〇九一〇 〇九三〇 〇九五〇	御召艦、警衛驅逐艦大連入港 御召艦御退艦警衛驅逐艦ニ御乗艦 警衛驅逐艦第二埠頭著 警衛驅逐艦御退艦 大連驛御發 新京御著	〇四一五 〇七〇〇	一八三〇 一〇〇〇
			御航海(九州南端通過)	假泊地出港 來島海峽通過豊後水道へ	ニ於テ御召艦ニ御乗艦 御召艦、警衛驅逐艦大阪出港 假泊地御著(錨位六島燈臺ノ一八〇度三・八浬)

0890

粟島假泊地	大 阪	横 濱	
	球 磨	峯 沖 雲 島	
御召艦 警衛驅逐艦 六島燈臺ノ一八〇度三・八涯 御召艦ノ東九〇度一〇〇〇米	御召艦 警衛驅逐艦 南突堤ノ二四〇度三七五〇米 第一號繫船岸 十七番浮標	御召艦 警衛驅逐艦 沖 島 峯 雲 八番浮標 五番浮標	雄、鳩 一番、二番浮標

0891

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千五百十二號

昭和十五年五月二十八日(火)  
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一五四三號ノ五  
昭和十五年度歳出科目中左ノ通追加ス  
昭和十五年五月二十八日

海軍大臣

款	項	目	節	解	疏	會計科目 電信略號	臨時部	官房第一〇三七號ノ三 官房第一〇三七號ニ依ル第八海軍軍用郵便所ノ事務ヲ開始ス 昭和十五年五月二十五日 海軍大臣	建築費	ツヤ
			機械費			レエ				
						レテ				
						ツク				
<p>出納令 會計官吏 第三遣支艦隊司令 部附主計科士官 揚子江口北岸以北ノ支那</p>								<p>官房第一〇三七號ノ三 官房第一〇三七號ニ依ル第八海軍軍用郵便所ノ事務ヲ開始ス 昭和十五年五月二十五日 海軍大臣</p>		
<p>昭和十五年三月二日海軍公報参照 七八四號 昭和十五年官房第一〇三七號ニ依ル第八海軍軍用郵便所ノ事務ヲ開始ス 支那ニ於ケル應費所屬物品ノ通常物品出納命令 同會計官吏並ニ之ガ取扱地域區分ヲ左ノ通定ム 昭和十五年五月二十八日 海軍大臣</p>										

海軍公報 (部内限) 第三千五百十二號

昭和十五年五月二十八日

五七九

0892

上海駐在官 席主計科士	上海駐在官 席主計科士	揚子江流域及揚子江口 以南廈門(廈門ヲ含マ ズ)ニ至ル支那沿岸 廈門以南(海南島ヲ含 マズ)ノ支那沿岸
廣東出張主計科士	海南島出張主計科 士官	海南島

備考

- 一、會計官吏ハ出納命令官之ヲ命免シ其ノ旨報告スベシ
- 二、取扱主任ハ各廳(之ニ準ズベキモノヲ含ム)ノ長部下判任官以上ニ之ヲ命シ會計官吏ニ通知スベシ
- 三、地域區分明確ナラザルトキハ出納命令官ノ認定ニ依ルモノトス

○通牒

經物第四四號

昭和十五年五月二十五日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

價格等統制令ノ制限ヲ超ユル價格ニ依リ爲サントスル契約ニ關スル件通牒

別表第一及第二ノ指示物品ヲ當該表ノ海軍官衙ニ於テ價格等統制令ノ制限ヲ超ユル價格ニ依リ購入セントスル場合左記ニ據ラルトキハ地方長官ニ於テ特ニ迅速ニ許可相成ルベキコトニ關係各省ト協議濟ニ付可然取計相成度

記

- 一 納入者又ハ納入物品ノ賣買當事者ヲシテ價格等統制令第二條第一項但書又ハ第七條第一項但書ノ許可ノ申請ヲ爲サシムルコト
- 二 海軍官衙ノ證明書發給官ニ於テ前號ノ申請書ニ對シ左ノ事項ノ證明書ヲ添付シ又ハ與書ヲ爲スコト
- イ 當該物品ハ海軍ガ購入スルモノナルコト
- ロ 其ノ價格ガ適當ナルコト

(別表添)

○辭令

集配員 折坂 一美

第六海軍軍用郵便所員ヲ免ス(需海軍省)

海軍主計中佐 山沖 芳市

海軍用語調査委員會臨時委員ノ指定ヲ解ク

0893

同 出本鹿之助  
海軍用語調査委員會臨時委員ニ指定ス(以上五十四海軍用語調査委員會委員長)

○ 雜 款

○將旗移揚  
横須賀防備戰隊司令官ハ五月二十二日將旗ヲ一時伊號第六潜水艦ニ移揚、同二十三日將旗ヲ一時峯雲ニ移揚孰モ即日横須賀防備隊ニ復歸セリ  
第二航空戰隊司令官ハ五月二十四日將旗ヲ飛龍ニ移揚セリ

○速達郵便料金ノ件  
山口縣熊毛郡周南町所在光海軍工廠(假稱)建設事務所ハ郵便區市外地ニ在リテ速達料金三十錢ヲ要スル處往々市内地料金(八錢)ヲ貼付セラルルタメ速達ノ用ヲナサザル場合有之候ニ付御注意相成度

別表第一

(昭和十五年五月二十八日公報(部内限))

指示物品		海軍官衙	
精製古木綿、 古木綿、木綿屑、 各種織物ノ古切類、 糸屑、小幅木綿、廣幅木綿、 金巾、軍用綿製品、 羽二重(純絹)、 黒綾木綿、生厚木綿、 紺小倉、葛城織、 晒薄綾木綿、薄綾木綿、 綾木綿、晒木綿、晒木綿縮、 生木綿、粗布、キヤラコ、 天竺木綿、綿縴子、 木綿平織、厚織布、 綿帆布、ガーゼ、 白綿フランネル、雲齊、 綿芯地、バーバリ、 ポプリン、ギャバチン、 硬化油	海軍省	經理局	證明書發給官
	海軍	經理部	部長
	水路	部	會計課長
	要港	部	主計長
	海軍	工廠	會計部長
	海軍	航空技術廠	會計部長
	海軍	火藥本廠	會計部長
	海軍	火藥本廠	會計部長
	海軍	火藥支廠	會計部長
	海軍	燃料廠	會計部長
	海軍	燃料廠探炭部	部長
	海軍	燃料廠鑛業部	部長
	海軍	燃料廠研究部	部長
	海軍	技術研究所	會計課長
	海軍	軍需部	會計課長
海軍	建築部	部長	
海軍	病院	院長	
大阪海軍監督會計官	監督會計官		

0895



別表第二

(昭和十五年五月二十八日公報(部内限))

指 示 物 品	海 軍 官 衙	證 明 書 發 給 官
漬物類、乾野菜類、 椎茸、凍豆腐、 麵類、罐詰類、 冷凍魚介類、鹽干魚、 佃煮、海藻類、 燕麥、壓搾馬糧、 干草、藜、豆類、 茶、肉類(冷凍肉類ヲ除ク)、 穀殼、鋸屑、 木材類(軍ト協議決定シタル 價格アル材種ヲ除ク)	海軍省經理局	局長
	海軍軍需部	會計課長
	要港部	主計長
	海軍經理部 <small>(木材類ノミ)</small>	部長
	水路部 <small>(同右)</small>	會計課長
	海軍工廠 <small>(同右)</small>	會計部長
	海軍航空技術廠 <small>(同右)</small>	會計部長
	海軍火藥本廠 <small>(同右)</small>	會計部長
	海軍火藥本廠爆藥部 <small>(同右)</small>	部長
	海軍火藥支廠 <small>(同右)</small>	會計部長
	海軍燃料廠 <small>(同右)</small>	會計部長
	海軍燃料廠探炭部 <small>(同右)</small>	部長
	海軍燃料廠鑛業部 <small>(同右)</small>	部長
	海軍技術研究所 <small>(同右)</small>	會計課長
海軍建築部 <small>(同右)</small>	部長	
大阪海軍監督會計官 <small>(同右)</small>	監督會計官	

備考 別表第二ノ物品ニ就テハ證明書發給前ニ其ノ品種、數量、價格等ヲ海軍省經理局ニ通知ノコト

0896

○艦船所在 印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○五月二十八日午前十時調

【横須賀】春日▲足柄▲夕張、神威、比叡、▷赤城▲

蒼龍、香取、嚴島、駒橋

▷朝雲▲、山雲▲

伊七▲、伊五▲

尻矢、鳴戸▲

(高崎)、(翔鶴)、(伊二三)▲

【長浦】

瑞穂

沙風、帆風、夏雲、峯雲

伊六、▷伊一二四、伊一二三

掃五、掃六、▷掃三、掃一、掃二、掃四

(伊一七)、(宗谷)

【鶴見】

(國後)▲

【横濱】

(鹿島)▲

【浦賀】

狹霧▲

(早潮)▲ (時津風)▲

【清水】

迅鯨

【大湊】

▷呂五七、呂五八

【函館】

▷朝風

【室蘭】

沖島

【吳】

淺間、鳳翔、鬼怒▲、大鯨▲、扶桑▲、日向、龍驤、妙高▲、千代田▲、▷球磨、初鷹

吳竹、若竹、早苗、磯波、敷波、矢風▲

▷綾波、浦波、菊月

▷伊一二三▲、伊一二二▲、伊六三▲、▷伊六〇、伊一六、伊五七▲、伊八、▷呂六四、呂六三、呂六八

雁

掃一三、掃一四▲、▷掃一六、掃一五

攝津、隠戸

(日進)、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊二七)▲

(隅田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲、(浦風)▲

木曾▲、大井

伊一▲、▷伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二〇)▲、(伊二一)▲、(伊二二)▲

【神戸】

相生

鶴見

(蒼鷹)▲

【玉】

伊四▲

(古守)▲

【因ノ島】

長月▲、文月▲

【舞鶴】

吾妻▲、龍田▲、長良▲、天龍、白鷹

▷秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔、芙蓉、刈萱▲

▷隼▲、鴨▲、鴻▲、鶴▲、千鳥

伊五二▲

(親潮)▲、(天津風)▲、(嵐)▲

海軍公報(部内限)第三千五百十二號

昭和十五年五月二十八日

五八三

0897

【佐世保】

青葉▲衣笠▲加賀、名取▲霧島、北上、

▷八重山、常磐

初春、□三日月、夕月、卯月、夕風、

皐月、睦月▲、□水無月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六二、□伊六二▲、伊六一▲、伊六四▲、

呂六六

掃一、掃二、□掃一〇、掃九

敷島▲、佐多▲、野島

(八丈)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【長崎】

(樫野)▲

【博多】

呂六五、呂六七

【仁川】

▷追風

【鎮南浦】

疾風

【羅府】

襟裳

【作業地】

□出雲、□安宅、熱海、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、二見、伏見、□鳥海、嵯峨、

□磐手、勝力、□千歳、▷由良、▷多摩、

龍登呂、□長門、陸奥、山城、伊勢、▷金剛、

榛名、▷加古、古鷹、▷阿武隈、▷川内、

▷劍崎、□高雄、愛宕、摩耶、▷羽黒、那智、

▷熊野、鈴谷、三隈、最上、▷利根、筑摩、

▷神通、▷那珂、▷五十鈴、▷飛龍

栗、梅、逆、松風、□朝風、□若葉、初霜、

子日、□春風、旗風、沖風、峯風、□神風、

波風、野風、沼風、彌生、□如月、望月、

□村雨、春雨、夕立、五月雨、□江風、涼風、

海風、山風、□白露、夕暮、有明、時雨、

□東雲、白雲、叢雲、薄雲、□天霧、朝霧、夕霧、

大潮、□朝潮、荒潮、滿潮、□黑潮、雪風、

初風、□霞、霞、陽炎、不知火、□響

雷、電、曉、□潮、曙、朧、漣、□初雪、

白雪、吹雪

□呂三四、呂三三、□伊五六、伊五八、

伊五三、伊五四、伊五五、□伊六七、

伊六六、伊六五、□伊六八、伊六九、

伊七〇、□伊七二、伊七一、伊五九、

伊七三、□伊七五、伊七四

鷺、鳩、雉、□友鶴、初雁、真鶴

掃七、掃一七、□掃一八、掃八

▷朝日、大泊、明石、知床、間宮

【航海中】

石廊 (二十日)「ホノルル」發「バラオ」( )

早鞆 (二十七日)「マニラ」發「佐世保」( )

室戸 (二十七日)吳發「佐世保」( )

長鯨 (二十八日)小部灣發「高松」( )

澤風 (二十八日)館山發「横須賀」( )

海軍公報(部内限)號外

昭和十五年五月二十八日(火)  
海軍大臣官房

○辭令

○昭和十五年四月一日

海軍法務官 皆川 一郎

敍從七位

海軍特務少尉 豊 竹 鉄

敍正八位

○昭和十五年四月九日

海軍軍醫中將 高杉新一郎

敍從三位(特旨ヲ以テ位一級被進)

海軍中將 熊 岡 讓

(各通)

同 宮 田 義 一

海軍軍醫中將 朝 隈 彦 吉

敍正四位(特旨ヲ以テ位一級被進)

海軍造船中將 田 中 朝 三

(各通)

同 正 木 宣 恒

海軍少將 藤 森 清 一 朗

敍從四位(特旨ヲ以テ位一級被進)

同 春 日 篤

海軍機關特務大尉 大曾根鶴吉

敍從六位(特旨ヲ以テ位一級被進)

○昭和十五年四月十五日

海軍中佐 前 田 精

同 梅 谷 薫

同 平 井 昌 平

同 新 島 信 夫

同 竹 内 馨

同 川 井 繁 藏

同 後 藤 光 太 郎

同 泊 藤 滿 義

同 勝 田 治 夫

同 浦 孝 一

同 高 田 榮

同 阿 部 俊 雄

同 同

直 横 川 光 星 安 杉 近 出 山 龜 横 桑 大 永 鶴 田 久 則 宮 小  
井 山 畑 延 田 浦 藤 石 口 井 井 原 家 口 備 村 米 滿 崎 西  
俊 一 正 東 一 義 嘉 勝 寛 捨 凱 俊 重 吾 兵 久 幾 宰 重 成  
夫 郎 治 洋 男 達 十 治 二 次 夫 之 遠 一 衛 憲 三 次 次 敏 三

同 同

宮 田 藤 佐 石 大 和 山 香 山 川 加 小 鈴 川 寺 馬 坂 深 高 山  
崎 口 谷 々 畑 橋 田 川 川 村 藤 別 木 崎 岡 場 田 谷 尾 本  
武 廣 安 健 四 富 三 雄 清 幾 眞 榮 惣 光 晴 正 良 義 惣 儀 善  
治 成 宅 爾 郎 士 郎 二 登 藏 一 吉 三 信 實 雄 文 人 吉 六 雄

海軍公報 (部内限) 號外

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

毛 太 城 松 岡 宮 長 川 田 杉 藤 菅 古 清 續 川 石 岩 本 佐 吉  
利 田 城 原 田 坂 井 井 口 野 松 原 田 水 木 崎 原 上 田 土 川  
剛 信 英 明 有 義 武 太 修 達 正 良 利 禎 進 繁 英 甚 親 唯  
二 之 一 夫 作 登 雄 嚴 郎 一 次 雄 夫 夫 弍 進 繁 壽 次 郎 光 馨  
郎 輔 郎 夫 作 登 雄 嚴 郎 一 次 雄 夫 夫 弍 進 繁 壽 次 郎 光 馨

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

山 佐 池 野 真 天 安 藤 川 黛 加 高 上 安 大 細 島 田 高 藤 三  
本 佐 田 口 方 野 川 野 口 藤 口 藤 原 田 武 江 谷 田 中 橋 間 浦  
榮 信 高 福 照 靜 重 正 野 野 治 行 久 泰 史 覽 資 泰 興 稷 千 半 良 三  
榮 信 高 福 照 靜 重 正 野 野 治 行 久 泰 史 覽 資 泰 興 稷 千 半 良 三

三



同 同

河 近 在 渡 山 郡 石 武 守 江 久 田 淺 石 石 桐 島 宮 森 仙 牟  
 本 藤 原 邊 田 嶋 松 林 弘 本 安 遺 香 塚 瀬 野 名 崎 幸 頭 田  
 實 龍 耕 之 光 定 祐 忠 作 一 房 保 武 正 三 義 隆 幸 武 三 勝 菊 雄  
 雄

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍軍醫中佐  
 同 同 同 同 同

林 武 内 吉 松 森 櫻 伊 新 木 小 小 三 田 小 松 門 森 佐 加 鈴  
 成 井 野 田 見 島 井 藤 井 庭 田 林 宅 村 辰 野 倉 山 多 茂 木  
 道 英 博 尙 雄 錄 得 一 實 甫 喜 昭 男 一 明 平 治 平 邦 孝 一 儀 長

0903





<p>海軍特務少尉 西條 秀司</p>		<p>海軍主計少尉 窪田 良雄</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍特務大尉 野口 保一</p>		<p>海軍少佐 出口 茂</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍特務大尉 石野 梅作</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍機關特務大尉 堀切 春吉</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍機關特務中尉 宮西 金次</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍機關特務中尉 兒玉 市藏</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍主計特務中尉 栗原 猪祿</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍軍醫大尉 織内 平八</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍主計特務中尉 阿知波 東一</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>同 竹田 逸作</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>同 三原 宅市</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>同 兼子 源市</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	
<p>海軍機關特務中尉 島倉 源助</p>		<p>海軍少佐 浦山千代三郎</p>		<p>海軍中將 佐藤 市郎</p>		<p>海軍大將 百武 源吾</p>		<p>海軍中佐 藤田 元成</p>		<p>海軍中佐 西岡 左運</p>		<p>海軍機關中佐 秋重 實惠</p>		<p>海軍主計中佐 前田 仁三郎</p>		<p>海軍教授 吉松 航太郎</p>	

0905

敍從五位

海軍技師 千川芳太郎  
同 鈴木新造

海軍少佐 古谷義二郎  
海軍技師 小副川要作

同 本村由三  
同 大畑宇治郎

同 古原富夫  
同 丹羽賢次

(各通)

敍正六位

海軍特務大尉 小林力松

海軍航空特務大尉 稻原喜一郎

海軍特務中尉 佐方寛

海軍航空特務中尉 石山清藏

海軍工作特務中尉 藤本彌三松

海軍主計特務中尉 佐々木耕一郎

同 渡邊計雄

同 船越儀三郎

海軍法務官 馬場東作

同 中島武雄

海軍教授 小林清八郎

(各通)

海軍技師 米田桂三

同 渡邊祐一

同 澤田真言

同 濱村雅男

同 岡本弘

同 谷田實

同 宮井忠藏

同 光勢真一

同 下村暢

同 東方一二

同 吉田忠一

同 河村敦夫

同 山口秀夫

同 松倉武雄

同 小田盛吉

同 永野徳志

同 古賀米作

同 齋藤七五郎

同 横田清綱

同 杉本實

同 後藤吉秋

0906

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
清水三郎	松尾孝	足田遼太郎	山中三郎	小山捷	河合次男	關甚作	山本實三郎	村上富司	梅谷重三郎	百木健	黒田正典	太田善一郎	今村嘉一郎	安島保男	御鳴要	菅野三男	溝口三雄	松井晋作	高瀬良次郎	安田千代次

敍從六位

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
前田榮太郎	加藤清	栗田武	安藤理吉	岩田茂	淺見秀周	入江弘	田中敬次郎	中村修	角田義和	樋渡爲助	小路金藏	市川録吉	山田誠	神田三郎	奥山忠七	元田利稔	成田利夫	加藤新八郎	松尾元治	

















敘正八位

同 同 同 同 同 同 同 同 同

和	河	森	小	貴	田	知	緒	佐	鈴
田	野	原	島	中	久	方	々	木	木
武				政	光	英	英	隆	孝
二	武	博	博	明	保	治	一	治	一

0915